

# 2019年06月18日山形県沖M6.8の地震と日本海側の深海魚の捕獲について

2019年7月10日 (株)新興技術研究所

## 1、概略

昨年(2018年)10月ごろより今年の3月ごろまで 日本海側各地で幻の深海魚といわれるリュウグウノツカイを中心に多数の珍しい深海魚の捕獲がニュースになった。

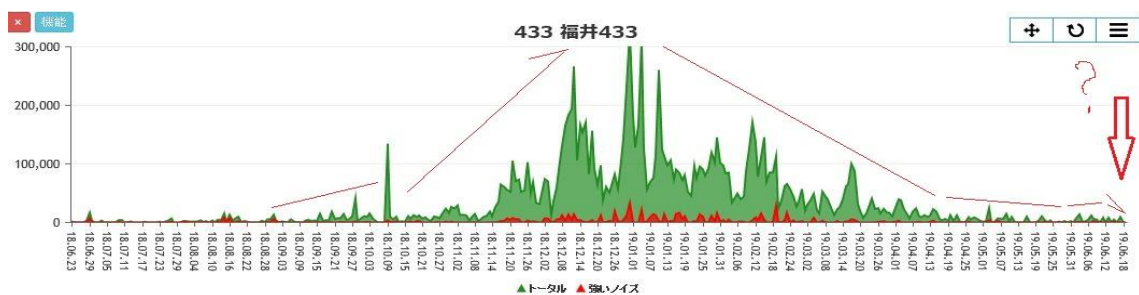
ちょうど期を同じくして我々は 逆ラジオによる電磁波ノイズの観測で大きな地震の前兆現象を 福井観測点および長野の安曇野観測点で捉えていた。

## 2、逆ラジオで捉えた電磁波ノイズの観測グラフ

このデータの収束時期、6月中旬頃に地震発生が考えられる。

福井観測点 2019年6月18日までの360日データ

(グラフは 縦軸1日あたりの電磁波パルス数、横軸 日付)

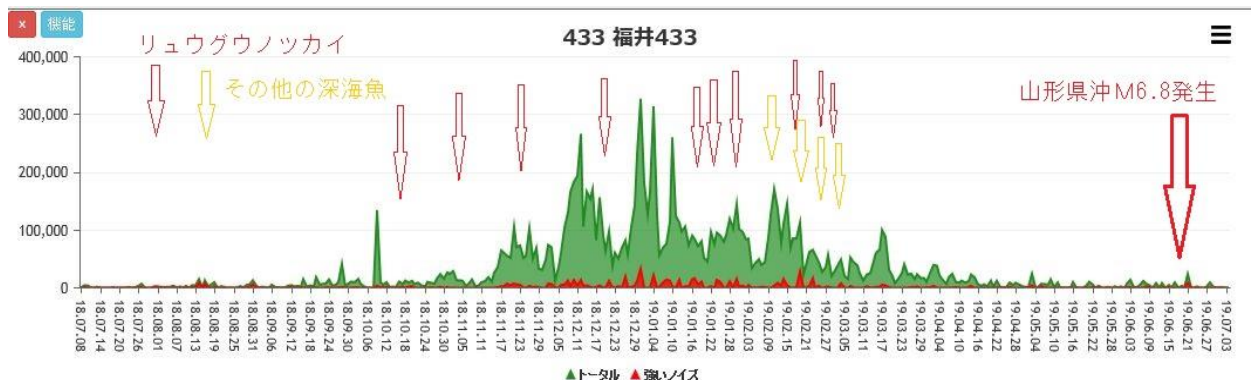


安曇野観測点 2019年6月18日までの360日データ



## 3、この2つの観測点の360日間のデータ上に、日本海側のリュウグウノツカイなどの深海魚捕獲の日をニュースからプロットしてみた。

### ① 福井観測点の360日間のデータと深海魚の捕獲日、及び地震発生日



② 長野 安曇野観測点の360日間のデータと深海魚の捕獲日、及び地震発生日  
(但し1月1日～3月10日頃まで 観測装置の不具合で欠測)



リュウグウノツカイや深海魚の捕縛で参照した日本海側の深海魚捕獲などのニュース

- ① 190131 またリュウグウノツカイ 魚津の海岸 本年度県内5匹目  
富山湾で「リュウグウノツカイ」が1月30日、魚津市経田の海岸で見つかった。  
県内では昨年10月から1月28日まで4匹が発見されている。  
今回で本年度の確認は計5匹となり、魚津水族館の記録では過去最多となった。
- ② 190201 2月1日富山湾沖合で、相次いでリュウグウノツカイが定置網にかかる
- ③ 190207 深海魚リュウグウノツカイ なぜ 捕獲相次ぐ? / 富山  
富山湾では、2009年から16匹しか捕獲されていないが、去年(2018年)10月から  
すでに7匹と異例のペースでみつまっている
- ③ 190211 日本沿岸で発見相次ぐリュウグウノツカイ
- ⑤ 190211 若狭湾沖の珍しい「サメハダホウズキイカ」捕獲  
水深110~200メートルで捕れた。
- ⑥ 190214 今年に入り「幻の深海魚」リュウグウノツカイが日本海側で相次ぎ見つかる
- ⑦ 190218 『リュウグウノツカイ』が新湊沖の定置網にかかる
- ⑧ 190221 ダイオウイカ 島根に漂着
- ⑨ 190224 墨吐く深海魚「アカナマダ」、31年ぶり富山湾に
- ⑩ 190226 鳥取・夏泊漁港にリュウグウノツカイ漂着
- ⑪ 190227 魚津にリュウグウノツカイ 県内9件目
- ⑫ 190228 佐渡で水深600mほどの深海のユウレイイカ 珍しい、相次いで捕獲

#### 4、位置関係について

2月14日現在のリュウグウノツカイ発見場所のマップ (YAHOO NEWSより)  
に、6月18日の震源を加筆。

## リュウグウノツカイの主な発見場所



(1月以降判明分、写真は魚津水族館提供)

<リュウグウノツカイの主な発見場所 2019, 2, 14 現在>

5、深海魚は大地震の前触れは迷信という、東海大海洋研究所と静岡県立大のグループの論文について

ちょうどこの6月に「深海魚は大地震の前触れ」は迷信、という論文が出た。この内容を我々の上記の観測結果と比べてみた。

参照：

190627 「深海魚は大地震の前触れ」は迷信 海洋研究所など調査 6/27(木) 配信  
深海魚の出現は、大地震の前触れ——。こんな言い伝えは「迷信」で根拠がないと、東海大海洋研究所と静岡県立大のグループが26日発表した。各地で捕獲されたり海岸に漂着したりした事例と、その後に近くが震源となった地震の発生状況を調べ、相関関係は確認されなかったという。

グループは、リュウグウノツカイなど地震の前兆とされる8魚種について、文献や地方紙の記事などで1928年11月～2011年3月に確認された336件を調査。

それから30日後までに、発見場所から半径100キロ以内が震源となったマグニチュード6以上の地震を調べたところ、07年7月の新潟中越沖地震以外は起きていなかった。

同研究所の織原義明特任准教授は「言い伝えが事実であれば防災に有益だと考えたが、そうではなかった。信じられている地方もあるが、地震の予知に役立つとは言えない」と話した。6月18日 米地震学会誌に掲載された。

(<https://pubs.geoscienceworld.org/ssa/bssa/article-abstract/571628/is-japanese-folklore-concerning-deep-sea-fish>)。(桑原紀彦)

この調査は ネットのニュースで見る限り、深海魚の発見と地震の発生の関連を以下の条件で限定して関連つけている。

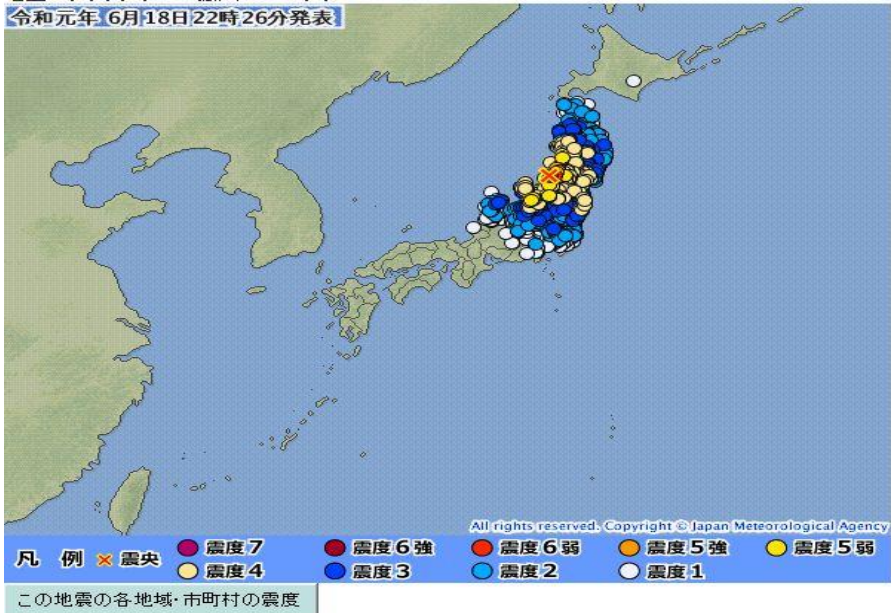
- ① 発見から30日後までに
- ② 発見場所から半径100キロ以内が震源の
- ③ マグニチュード6以上の地震
- ④ 07年7月の新潟中越沖地震以外は、地震は起きていなかった、と書いている。

しかし 我々の電磁波ノイズの推移からみた深海魚の発見捕縛の関連は 電磁波ノイズが上昇する2018年10月ごろから始まり、今年2019年1月ごろに電磁波ノイズの山はピークを迎えて次第に減衰していくが まだ電磁波ノイズが多く観測されている3月頃までは深海魚の発見が多数みられる。

上記の論文では深海魚の発見から30日間、発見場所から100km、という条件をどういう根拠で決めたか、が問題になると考えられる。想像では 日数と範囲を もっと広くとれば 別の見解になった可能性があると思われる。

## 6、地震発生

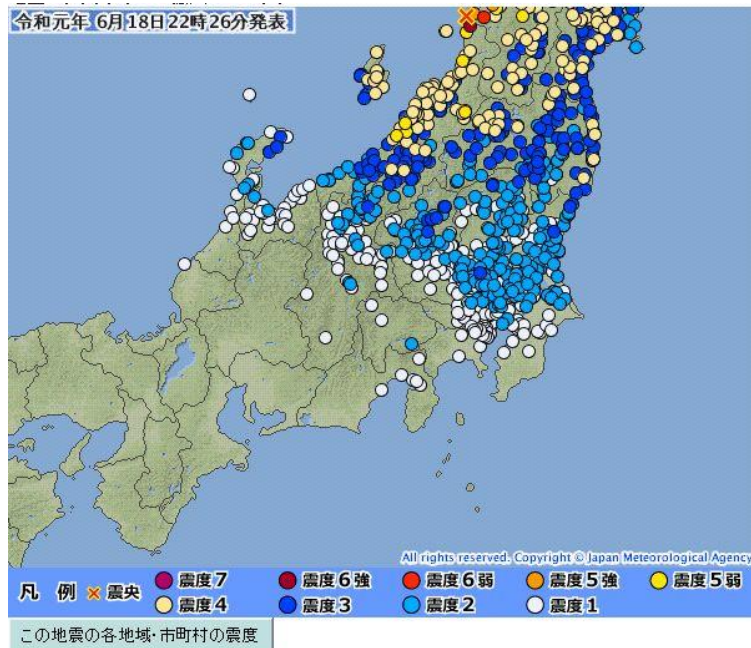
2019年6月18日 山形沖地震 M6.8 発生 (気象庁のHPより。)



各地の震度に関する情報

令和 元年 6月18日22時26分 気象庁発表

18日22時22分ころ、地震がありました。  
震源地は、山形県沖（北緯38.6度、東経139.5度、酒田の南西50km付近）で、震源の深さは約10km、地震の規模（マグニチュード）は6.8と推定されます。



各地の震度に関する情報

令和 元年 6月18日22時26分 気象庁発表

18日22時22分ころ、地震がありました。  
震源地は、山形県沖（北緯38.6度、東経139.5度、酒田の南西50km付近）で、震源の深さは約10km、地震の規模（マグニチュード）は6.8と推定されます。  
津波警報等（大津波警報・津波警報あるいは津波注意報）を発表中です。